TAKASAGO
高砂香料工業株式会社

2012年3月期　第2四半期
決算説明会

2011年11月16日

本日の内容

1. 2012年3月期　上期概要

2. 2012年3月期　業績予想



※このプレゼンテーション資料では「第2四半期」を以下「上期」と記述しています。

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

1. 2012年3月期　上期概要

Copyright ⓒ 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

上期連結業績（予想比）

単位:百万円	2012/3 前回予想 5/13発表	2012/3 上期実績	対予想比	
			金額	%
売　上　高	59,000	59,932	932	102%
売上総利益	18,100	18,861	761	104%
売上総利益率	(30.7%)	(31.5%)	(0.8%)	-
販売管理費	15,000	14,381	△618	96%
営 業 利 益	3,100	4,479	1,379	145%
経 常 利 益	3,000	4,452	1,452	148%
当期純利益	1,900	2,623	723	138%

【売上】

見通しを若干上回る。

【売上総利益率の改善】
飲料向け香料の稼動率向上(被災地向け需要等含む)。

【営業利益　販売費】

販売費　予算の段階では全体的に厳しく見積もる。

為替レート

前回予想	上期実績
USD:　85.0円	USD:　82.0円
EUR:　110.0円	EUR: 115.0円

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

上期連結業績（前期比）

単位:百万円	2011/3 上期（前期）	2012/3 上期	前年同期比	
			金額	%
売　上　高	60,547	59,932	▲615	99%
売上総利益	19,712	18,861	▲850	96%
売上総利益率	(32.6%)	(31.5%)	(▲1.1%)	-
販売管理費	14,607	14,381	▲225	98%
営 業 利 益	5,104	4,479	▲624	88%
経 常 利 益	4,997	4,452	▲545	89%
当期純利益	3,325	2,623	▲702	79%

【売上高】
為替の影響　マイナス約20億円。
フレグランス事業において日本、欧州が伸びた一方で、米州は横ばい。
ファインケミカル事業の減収。

【売上総利益/営業利益】
原料高によるフレグランス事業の利益率低下。

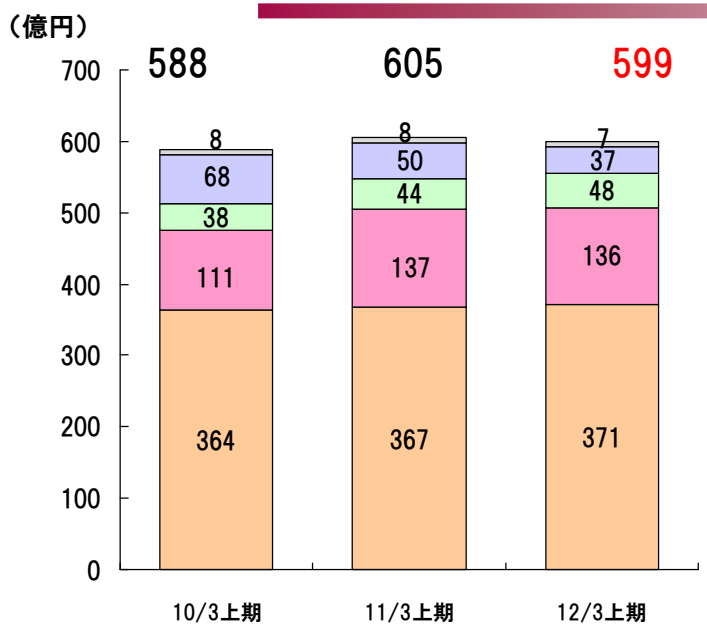
販管費:グローバル経費が増加したものの、その他の経費全体的に減少。
基幹システムの保守費用が減少。

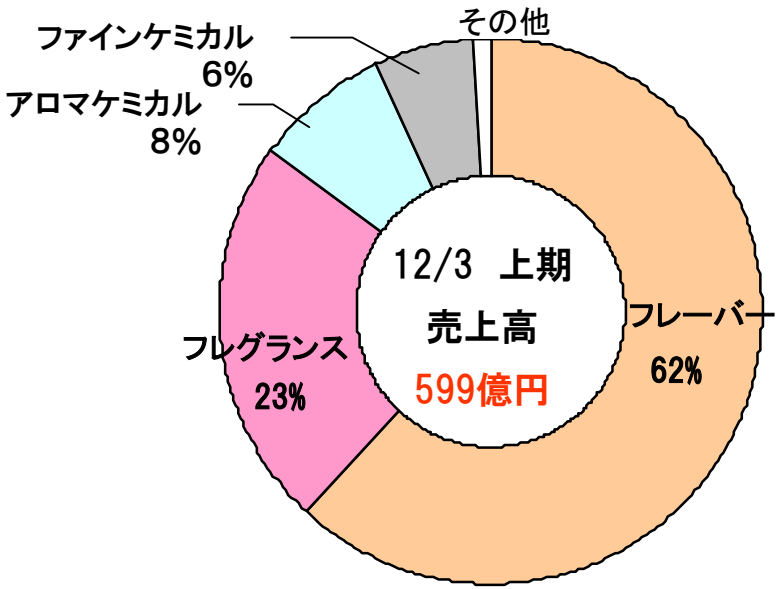
為替レート

前期		今期	
USD:	91.4円	USD:	82.0円
EUR:	121.3円	EUR:	115.0円

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

事業別売上高





【フレーバー】・・・前期比 101%
・国内：清涼飲料向けは昨年並み、冷菓、タバコ向け香料が好調。一方で転売品目が減少。
・海外：アジア地域全般順調。マルチナショナル向けが順調、マレーシア関係会社のコーヒー商材も収益回復。

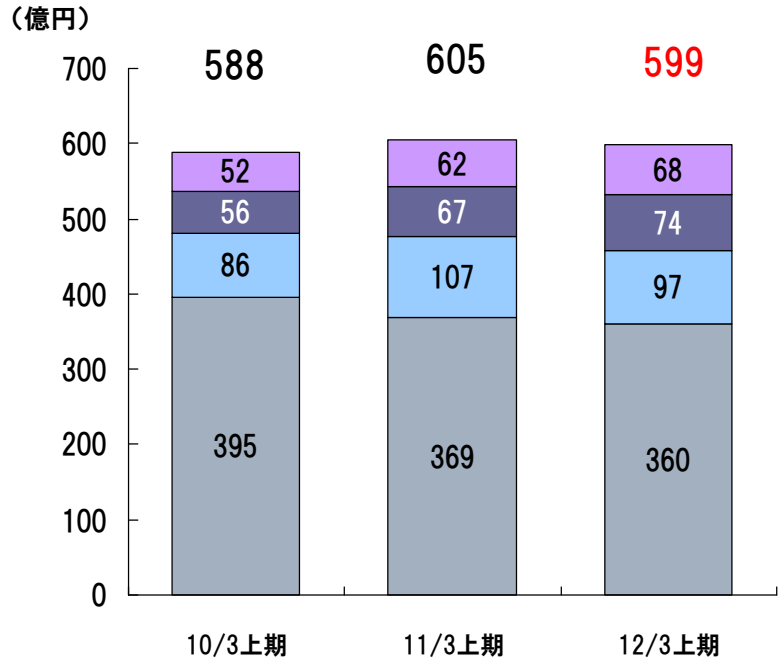
【フレグランス】・・・前期比 99%
・全体で為替のマイナス要因が10億円。米州のエアケア（芳香剤等），トイレタリーが減速。
・国内フレグランスは柔軟剤向け、オーラルケア向け等の採用が伸張。

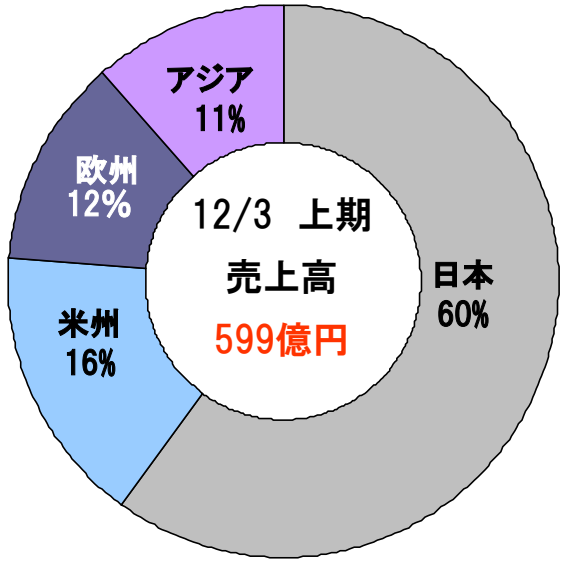
【アロマケミカル】・・・前期比 110%
・天然メントールが高値安定で引き続き合成品への引き合いが強い。また震災・夏場の節電対応製品（ボディペーパー・ハップ剤等）向けも需要が伸びる。

【ファインケミカル】・・・前期比 74%
・製薬メーカーの医薬品の特許期間満了の影響を受け、主力の抗生物質の売上が減少。
・連結上必要な期ズレ調整の影響もあり。
・年間見通しでは予想の範囲内で推移。

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

地域別売上高





【日本】・・・前期比 97%
・特許期間満了の医薬品向け中間体の売上減少。
・フレーバー事業は夏場の飲料関係が昨年ほど伸びず、また転売品が減少。デザート、タバコ向けは増加。フレグランス・アロマケミカルは増収。

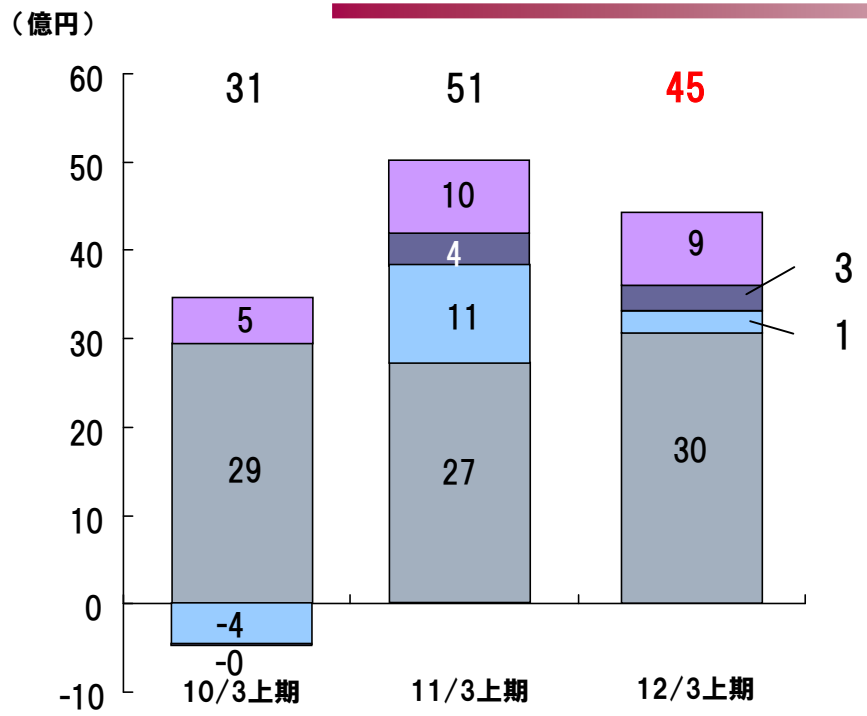
【米州】・・・前期比 91%
・約10億円の為替マイナス要因を除けば全体では横ばい。一部フレグランスで需要が落ち込む。

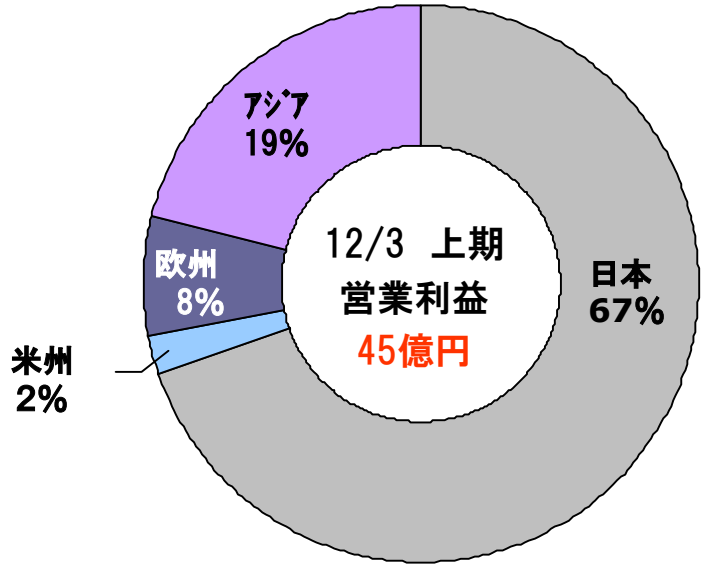
【欧州】・・・前期比 111%（為替要因▲5億円）
・フレグランスはファインフレグランス、トイレタリー・ホームケア向け等が伸び過去最高（現地通貨）の売上。フレーバーはデイリー関係など増加。

【アジア】・・・前期比 109%（為替要因▲6億円）
・中国は引き続き15%近い伸び、東南アジアも為替要因を除き20%近く伸びた。マルチナショナル、ローカル顧客とも伸びている。

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

地域別営業利益





【日本】・・・前期比 +3億円(112%)
・フレグランス事業の増益、デザート、タバコ、セイボリー向け自社製造品の伸張、販管費では前期のシステム立ち上げ費用の減少が増益要因。
【米州】・・・前期比 ▲10億円
・フレグランスでの減収要因に加え、原料高、の影響が響く。

【欧州】・・・前期比 ▲1億円
・特にフレグランス分野での原料費の高騰、調香師採用等、経費面での負担が大きい。フレーバー分野でも人員増加。

【アジア】・・・前期比 ▲0.5億円
・東南アジアでもフレグランス関係の原料費高騰が利益を圧迫。

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

原料価格高騰

主要な高騰原料

Orange oil , Lemon oil

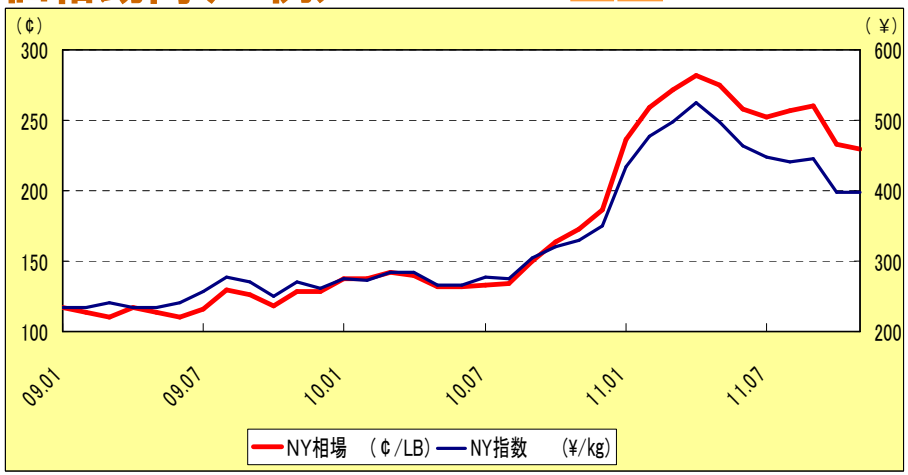
Peppermint & Spearmint

ミルセン

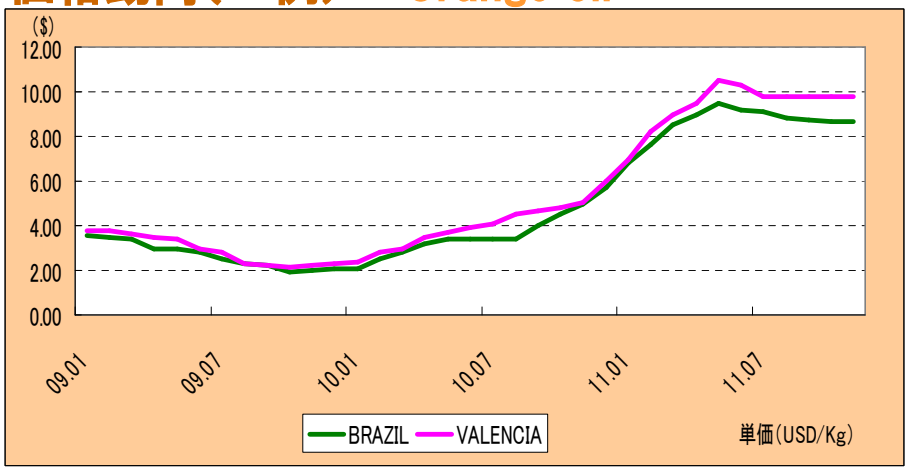
コーヒー生豆

その他フレグランス原料

価格動向(一例)　コーヒー生豆



価格動向(一例)　Orange oil



■ 海外各拠点で原料費比率(対売上)が約5%～7%上昇

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

国内フレグランスマーケットの状況

トイレタリー・ハウスホールド市場のニーズの変遷



高砂の経営資源を駆使して機会を捉える

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

2. 2012年3月期　業績予想

Copyright ⓒ 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

業績予想(連結) 通期予想

単位:百万円	2011/3（前期）	2012/3 通期予想	前期比	
			金額	%
売　上　高	114,861	115,000	139	100%
営 業 利 益	5,912	4,600	▲1,312	78%
営業利益率	(5.1%)	(4.0%)	(▲1.1%)	-
経 常 利 益	5,989	4,500	▲1,489	75%
当期純利益	3,984	2,900	▲1,084	73%

【見通し全般】上半期は上方修正したが、海外需要動向等の不透明要素が大きく、通期予想は現段階では据え置き。

【売上高】
欧米での需要見通しが厳しい。
為替のマイナス見込み(約40億円)。

【売上総利益】
海外を中心に主にフレグランスの原料高騰の影響が懸念される。

【営業利益】
グローバル対応の経費が増加

為替レート
USD:　想定　79円　(前期 87.8円)
EUR:　想定 111円　(前期116.4円)

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

設備投資計画とキャッシュ・フロー

単位：億円		10/3 実績	11/3 実績	12/3 見込
Ⅰ.内部留保		66	83	76
	税引後利益	24	40	29
	社外流出（利益処分）	▲8	▲9	▲8
	減価償却費	50	52	55
Ⅱ.設備投資等		▲64	▲51	▲50
Ⅲ.運転資金増減　その他		18	▲4	▲10
フリーキャッシュ・フロー（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）		20	28	16
Ⅳ.財務キャッシュ・フロー		▲25	▲9	▲35
	有利子負債の増減	▲25	▲9	▲35
キャッシュ・フロー計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）		▲5	19	▲19
Ⅴ.現金同等物の期末残高		102	121	102

【11/3 投資】・・・51億円
・ブラジル投資と、北米生産体制整備。

【12/3 投資計画】・・・50億円
・ブラジル投資。
・北米の生産体制整備。
（改修費用、機械設備）
・その他東南アジアでの拡張投資。
・生産機能向上のための設備投資。

【中長期的な投資見通し】

今後は引き続き50～70億円程度の基盤整備・成長への投資を想定。

M＆A案件なども厳選し継続的に検討していく。

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

長期安定成長に向けて

■ グローバル市場の動向

⇒**天然志向の拡大**

（フレーバーだけでなくフレグランス市場でも）

・天然原料、シトラスセンター（高砂グループへの原料供給拠点）の活用で差別化。

・高砂の戦略商品であるメントール、センセートケミカル（※）を最大限に活用。

・新規にアロマケミカル研究所を創設し、ナチュラルケミカルの開発を推進する。

（※）冷感や温感といった感覚に作用する素材
歯磨き・菓子向け等に使用される付加価値商材

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

長期安定成長に向けて

■アジア地域戦略

⇒東南アジアでの拡張投資

・東南アジア最大市場のインドネシア、急拡大するベトナム、潜在規模の大きいインド市場等の中心に位置する

Takasago International (Singapore) Pte., Ltd.

研究・生産・販売・物流の「ハブ拠点」として強化し、成長市場を戦略的にカバーしていく。





Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved

■株主還元

・配当政策：業績水準を勘案した安定配当の継続

・自己株式取得を実施：

資本効率と株主価値の向上を図る目的

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved



本日は、ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2011年11月16日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先： 取締役 企画開発本部長　松本　裕幸

TEL：03-5744-0523　FAX: 03-3730-6678

http://www.takasago.com

E-mail: ir@takasago.com

Copyright © 2011 Takasago International Corporation All Right Reserved